

## ◎子ども主体の授業作り

※ 授業の始めに、本時のめあてを書く。時間があればノートにふり返りを書く。

1. **つかむ** → **めあて** を書く
2. **見通す** → **見** 見通しを書く
3. **解決する** → **自** 自分の考えを書く
4. **ねり上げる** → **友** 友達の考えを書く  
わ→分かりやすい方法は？  
か→簡単な方法は？  
い→いつでも使える方法は？
5. **ふり返る** → **まとめ** を書く  
⑤ ふり返りを書く

## ◎発表の仕方

(全学年) 「はい・たつ・です」(全教室に掲示)

(低・中学年)

- ・はい、～です。
- ・わたしは、～だと思います。(どうですか。)
- ・ちがう意見があります。
- ・〇〇さんの意見につけたしで、～です。
- ・ほかに、～もあります。

(高学年)

### **新しい意見**

- ・わたしの考えは、～です。 ・わたしは、～だと思います。

### **反対・質問**

- ・〇〇さんの意見とはちがって、～です。
- ・〇〇さんの意見に反対します。そのわけは、～だからです。
- ・〇〇さんの意見に質問します。～ですか。

### **つけたし・賛成**

- ・〇〇さんの意見と似ていて、～です。
- ・〇〇さんの意見と同じで、～です。
- ・〇〇さんの意見につけたしで、～です。
- ・ほかに、～もあります。

## ◎算数の指導において

- ・今年度からブロックを使った指導を行う。  
ただし、2年生のかけ算指導・3年生の割り算指導は、シエーマ図を使った指導を行う。
- 4年生からは、二重数直線の指導に移行。
- ・文章題では、問題把握のために線や記号をつけたりする。学校全体としては、**求めることに線を引く**ことにする。それ以外は、各学年でそろえて取り組む。
- ・原則として、式の数字に単位をつける。  
(推奨・・・3年生の2学期まで・2量を扱う単元〈単位量・速さ・かけ算・割り算〉)

$$3こ + 5こ = 8こ \quad 12人 - 5人 = 7人$$

1さらに2こずつりんごがのっています。7さらだとぜんぶでいくつになりますか。

$$2こ / さら \times 7さら = 14こ$$

- ・数量の関係を表現するのに、おはじきのような半具体物、ドットを用いた図、ドットを囲んだドットテープ図、ドットを省略したテープ図、タイル図、シエーマ図(かけわり図、線分図、数直線を積極的に使用する。
- ・計画的に児童のノートを評価する。

## ◎ノートの書き方について

- ・下敷きを敷く。
- ・日付、ページを書く。
- ・大きな文字で、丁寧に書く。
- ・文や計算は、つめすぎないで、一行や二行あけて書く。
- ・線は、ミニ定規で引く。(筆算・分数の時も)
- ・正解の時は、小さな丸をつける。
- ・間違ったら、×や二重線を書いて書き直す。できれば、消しゴムを使わない。  
(どこで間違ったのかを見直すため。臨機応変に)
- ・1マスに書いていい数字は、2つまでにする。

## ◎教員の姿勢の共通確認事項

- ・1日の時間割・予定を教室前などに掲示する。
- ・黒板の周囲の掲示物は、必要最小限にする。(または、カーテン等で覆う。)
- ・机の並び方の乱れ、落し物、掲示物の剥がれなどに注意する。
- ・授業の始めと終わりのあいさつをきちんとさせる。
- ・児童を、～さんとさん付けで呼ぶようにする。
- ・名前を呼ばれたら、はいと返事するように指導する。

**重点目標** 授業前の号令・挨拶は、きっちりとする。

「はい・たつ・です」の徹底